

第3回中野区構造改革推進アドバイザー会議

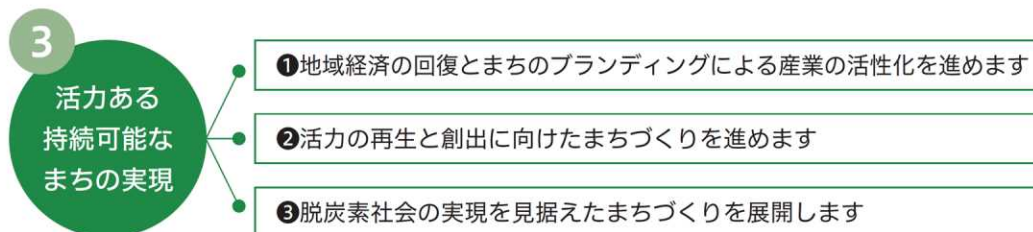
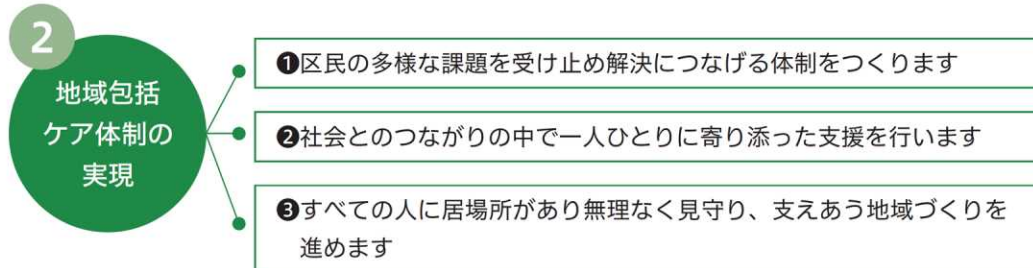
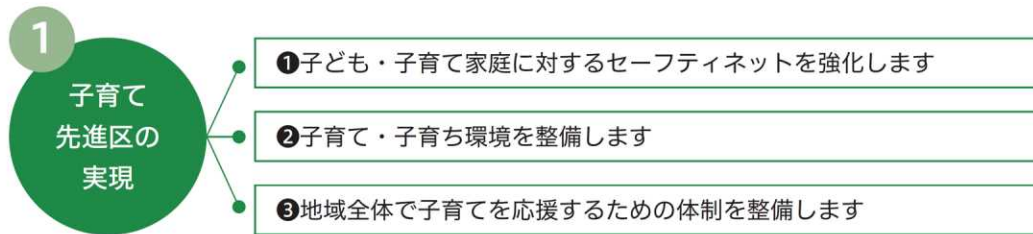
人口動向から見る今後の施策展開について

令和4年3月10日

中野区企画部

中野区基本計画 重点プロジェクト

- 組織横断的かつ重点的に対応することが必要な政策課題に対して設定。
- 基本計画の期間内において、全庁をあげて取り組んでいく。



子育て先進区の実現

出生率の向上や子どもと子育て家庭の区内定住の促進を図る

- ▶ 子どもが健やかに育ち、子育てをする上で必要な環境が整っており、子どもと子育て家庭の満足度の高いまち
- ▶ 区の子育て環境が区内外に認知されており、多くの子どもと子育て家庭から選ばれるまち

を目指す

政策マネジメントの確立（組織横断的な取組）

- 組織横断的に取り組む施策の推進や、短期集中的な対応が求められる事案については、権限と責任を明確にした推進体制を構築し、成果を上げるためのプロジェクト・マネジメントの徹底を図る。

（中野区基本計画 第6章 区政運営の基本方針から抜粋）

○部門横断的課題解決に向けた体制の構築

- ・多様性、専門性等を活かした人材育成
- ・横断的組織の構築（区有施設の財産経営における機能・情報の集約など）
- ・従来の組織によらない短期集中型の課題検討体制（プロジェクトチームの設置など）

政策マネジメントの確立（エビデンスに基づく政策立案）

- 政策形成過程における的確な意思決定を行うため、事案の妥当性や有効性、定量的・定性的なデータ、適切な合意形成、人員・財源の確保など、総合的に判断するための様々な情報やエビデンスを収集・分析・活用できるよう企画構想力を高めていく。

（中野区基本計画 第6章 区政運営の基本方針から抜粋）

○エビデンスに基づく政策立案(EBPM)の確立

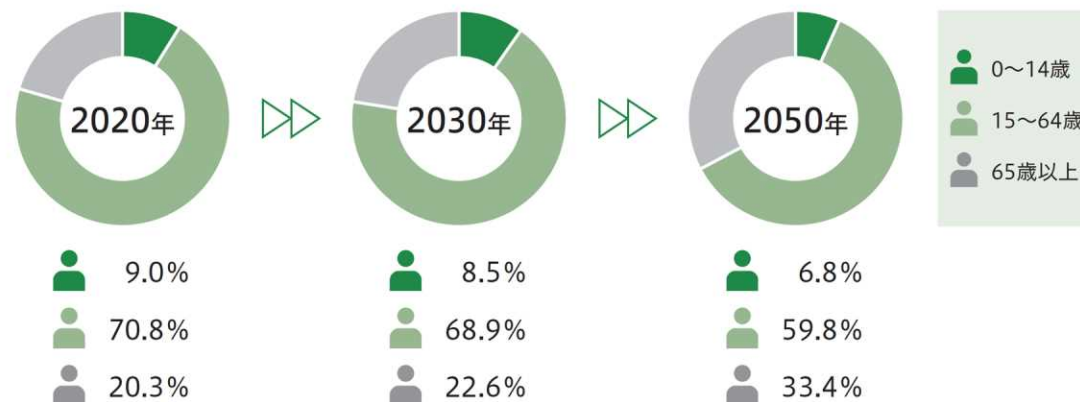
- ・区実施調査結果の政策形成への反映
- ・施策・事業の利用者(ユーザー)による評価、満足度向上に向けた事業構築
- ・データ分析・活用
- ・行政評価を活用した事業改善の実効性

将来人口推計

- 区の人口は、令和17年（2035年）まで増加を続けた後に減少に転じる。
- 年齢区分別では、15～64歳人口の割合が減少し、65歳以上の割合が増加。



※2020年の値は、2020年10月1日現在(住民基本台帳)の人口を示しています。



中野区年齢別人口と労働力人口

左側：男
右側：女

17年国勢調査
310,627人

27年国勢調査
317,826人

年少人口 8.3% → 8.3%
生産年齢人口 73.5% → 70.3%
老年人口 18.2% → 21.3%

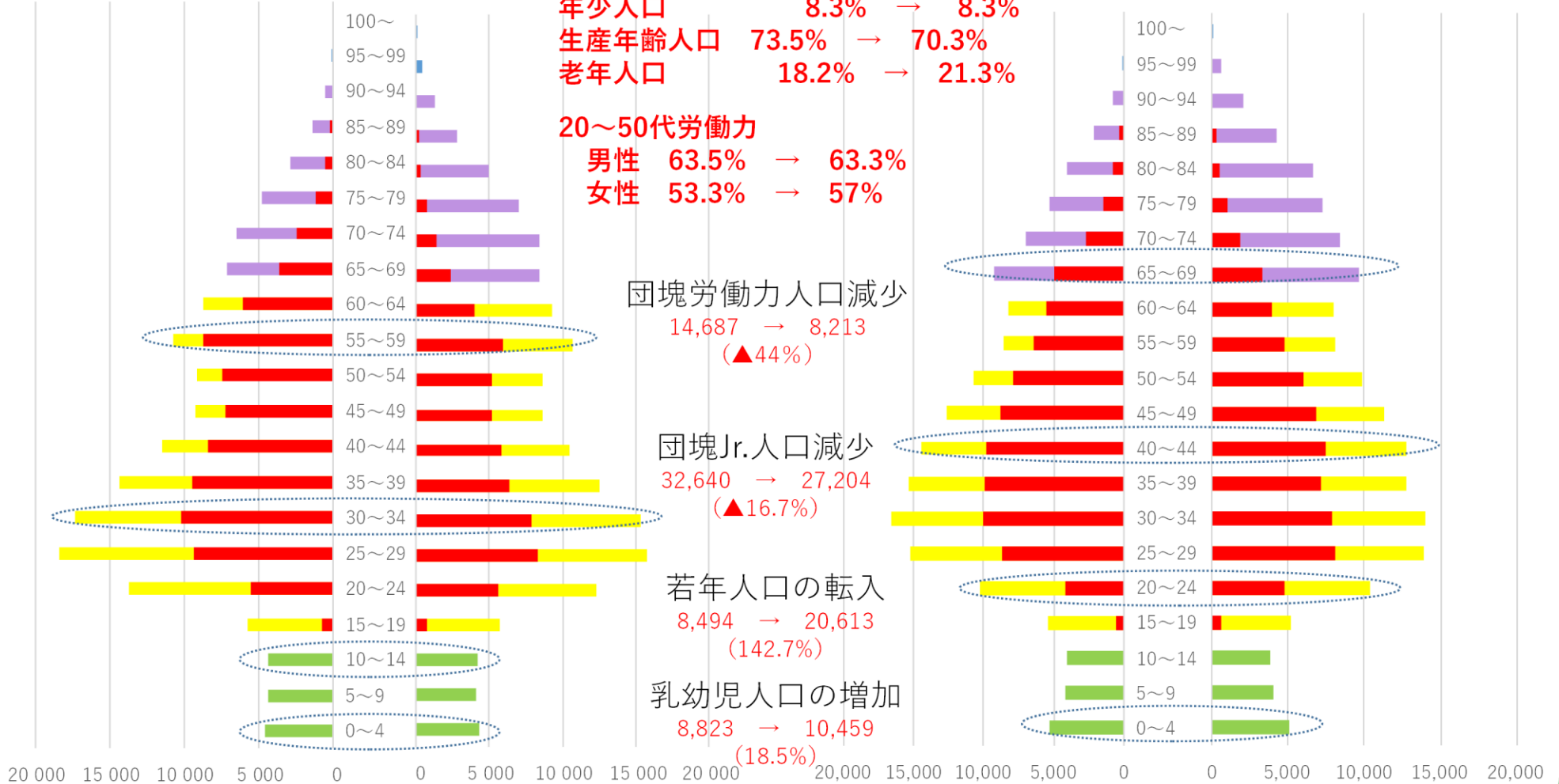
20～50代労働力
男性 63.5% → 63.3%
女性 53.3% → 57%

団塊労働力人口減少
14,687 → 8,213
(▲44%)

団塊Jr.人口減少
32,640 → 27,204
(▲16.7%)

若年人口の転入
8,494 → 20,613
(142.7%)

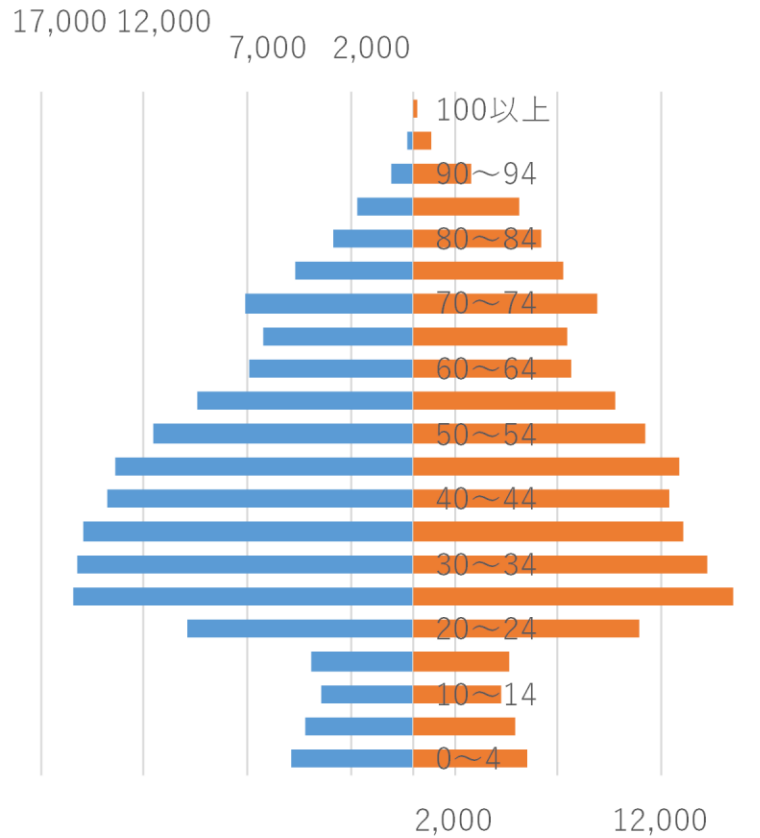
乳幼児人口の増加
8,823 → 10,459
(18.5%)



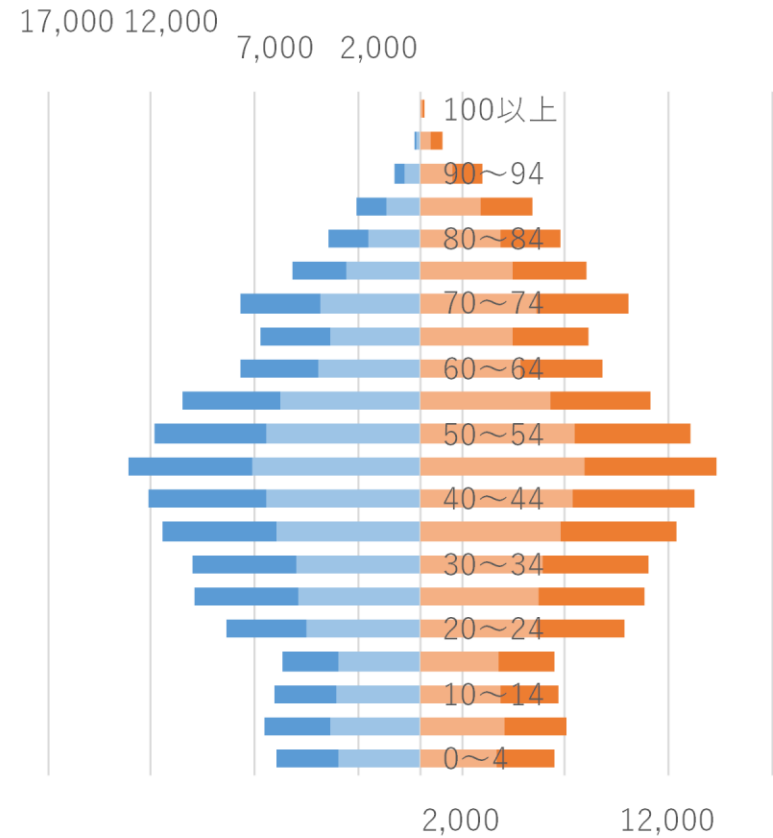
中野区と武蔵野市・三鷹市の人口構成

人口総数 334,632人

人口総数 337,769人
(武蔵野市147,643人、三鷹市190,126人)



■ 中野区男 ■ 中野区女

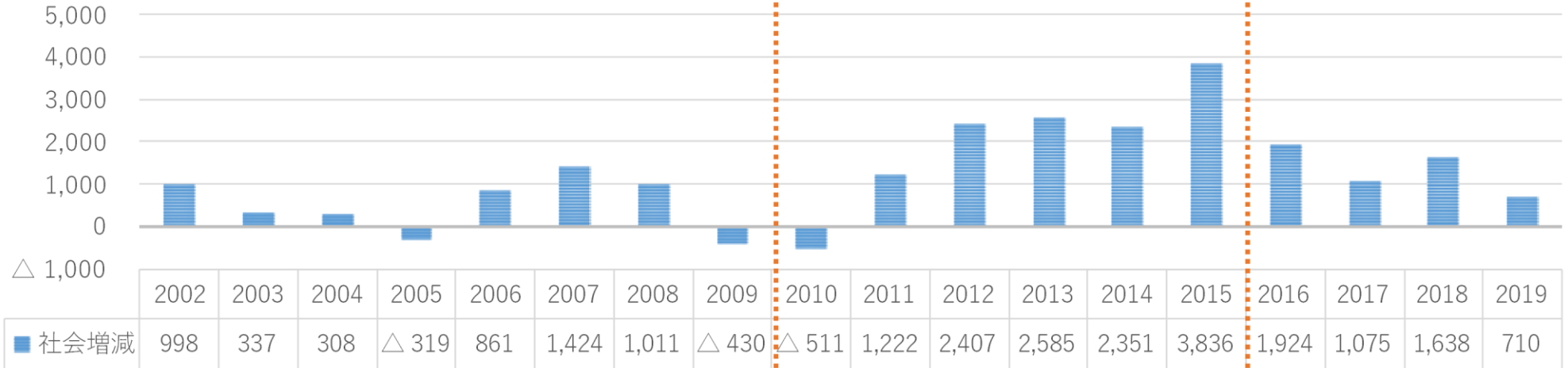


■ 武蔵野市男 ■ 三鷹市男 ■ 三鷹市女 ■ 武蔵野市女

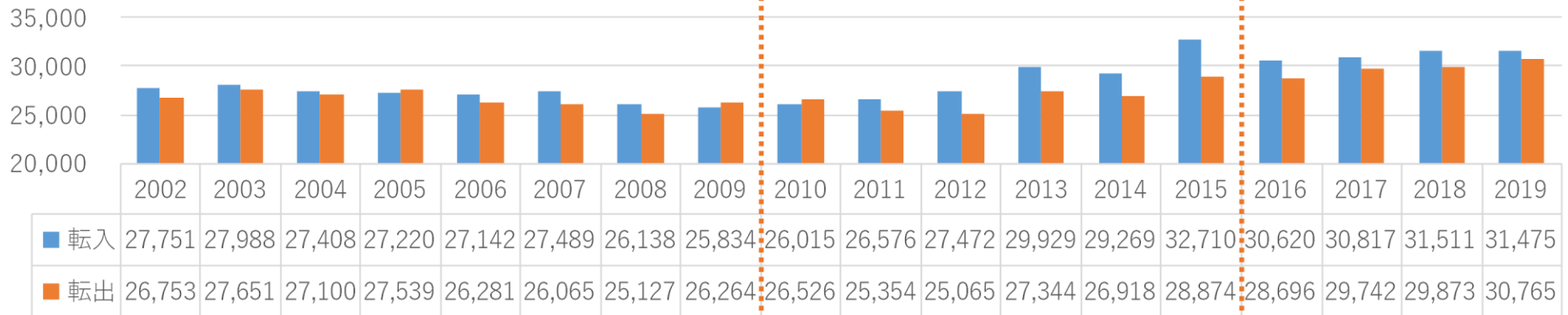
住民基本台帳 令和3年1月1日現在

社会増減(転入・転出)

社会増減



転入・転出

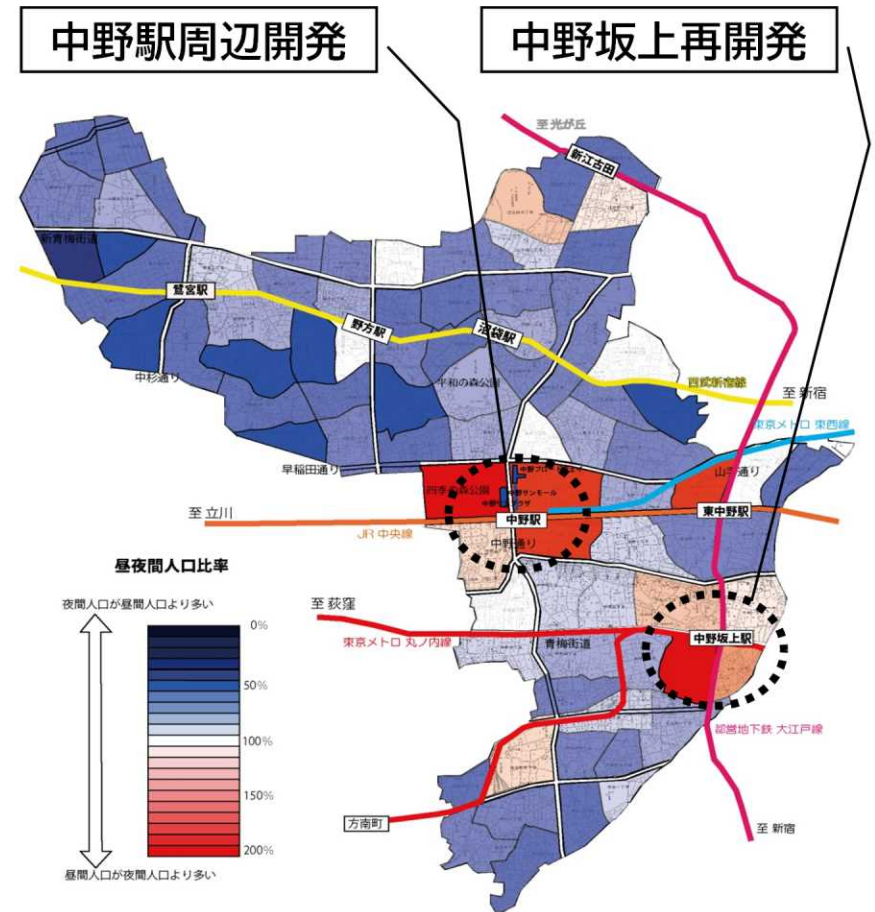


人口増減ランキング(2010⇒2015)

増減数 順位	丁目	増減数	増減率 順位	増減率
1	中野四丁目	939	1	70.76%
2	中野三丁目	705	6	13.35%
3	中央四丁目	629	10	10.68%
4	東中野五丁目	615	4	14.21%
5	東中野一丁目	532	14	8.79%
6	白鷺一丁目	531	3	14.95%
7	東中野四丁目	502	5	14.00%
8	本町三丁目	493	12	9.72%
9	弥生町一丁目	420	22	7.01%
10	中央一丁目	410	17	7.79%
...				
81	弥生町五丁目	△ 80	80	-2.42%
82	白鷺三丁目	△ 83	81	-2.59%
83	南台四丁目	△ 119	83	-2.87%
84	沼袋一丁目	△ 147	84	-4.12%
85	上高田五丁目	△ 220	85	-6.66%

参考：国勢調査

昼夜間人口比率



出典：国勢調査データを加工

同年齢前年対比増減率

平成27年1月1日現在0歳児人口の推移 令和3年の6歳時点で355人減少(14.7%減)

年齢	平成27年1月1日	平成28年1月1日	平成29年1月1日	平成30年1月1日	平成31年1月1日	令和2年1月1日	令和3年1月1日	年齢平均増減率	0歳基準増減数	0歳基準増減率						
0歳	2,414	2,542	2,592	2,521	2,429	2,334	2,375									
1	2,224	2,391	-1.0%	2,421	-4.8%	2,446	-5.6%	2,414	-4.2%	2,368	-2.5%	2,259	-3.2%	-4.1%	△75	-3.2%
2	2,167	2,158	-3.0%	2,276	-4.8%	2,321	-4.1%	2,333	-4.6%	2,320	-3.9%	2,292	-3.2%	-4.1%	△137	-5.6%
3	1,983	2,118	-2.3%	2,070	-4.1%	2,155	-5.3%	2,257	-2.8%	2,240	-4.0%	2,257	-2.7%	-3.8%	△264	-10.5%
4	1,860	1,976	-0.4%	2,046	-3.4%	2,037	-1.6%	2,089	-3.1%	2,215	-1.9%	2,179	-2.7%	-2.5%	△413	-15.9%
5	1,855	1,839	-1.1%	1,941	-1.8%	2,008	-1.9%	2,006	-1.5%	2,067	-1.1%	2,192	-1.0%	-1.4%	△350	-13.8%
乳幼児人口	12,503	13,024	-1.5%	13,346	-3.8%	13,488	-3.7%	13,528	-3.2%	13,544	-2.7%	13,554	-2.6%	-3.2%		
6	1,716	1,859	0.2%	1,826	-0.7%	1,909	-1.6%	1,980	-1.4%	1,996	-0.5%	2,059	-0.4%	-0.9%	△355	-14.7%
7	1,681	1,716	0.0%	1,857	-0.1%	1,793	-1.8%	1,897	-0.6%	1,944	-1.8%	1,999	0.2%	-0.8%		
8	1,624	1,692	0.7%	1,699	-1.0%	1,853	-0.2%	1,796	0.2%	1,911	0.7%	1,931	-0.7%	-0.2%		
9	1,557	1,619	-0.3%	1,690	-0.1%	1,683	-0.9%	1,845	-0.4%	1,787	-0.5%	1,912	0.1%	-0.4%		
10	1,626	1,551	-0.4%	1,610	-0.6%	1,685	-0.3%	1,671	-0.7%	1,853	0.4%	1,786	-0.1%	-0.2%		
11	1,585	1,623	-0.2%	1,557	0.4%	1,616	0.4%	1,685	0.0%	1,698	1.6%	1,865	0.6%	0.6%		
12	1,642	1,593	0.5%	1,627	0.2%	1,562	0.3%	1,619	0.2%	1,689	0.2%	1,720	1.3%	0.5%		
13	1,696	1,643	0.1%	1,612	1.2%	1,642	0.9%	1,581	1.2%	1,646	1.7%	1,697	0.5%	1.1%		
14	1,681	1,708	0.7%	1,657	0.9%	1,624	0.7%	1,656	0.9%	1,590	0.6%	1,666	1.2%	0.8%		
学齢期人口	14,808	15,004	0.1%	15,135	0.0%	15,367	-0.3%	15,730	-0.1%	16,114	0.3%	16,635	0.3%	0.0%		
年少人口合計	27,311	28,028	-0.7%	28,481	-1.9%	28,855	-2.0%	29,258	-1.7%	29,658	-1.2%	30,189	-1.1%	-1.6%		

- 乳幼児は各年齢3%前後減少
- 0歳児は就学までに14%前後減少
- 学齢期は増減がほとんどない

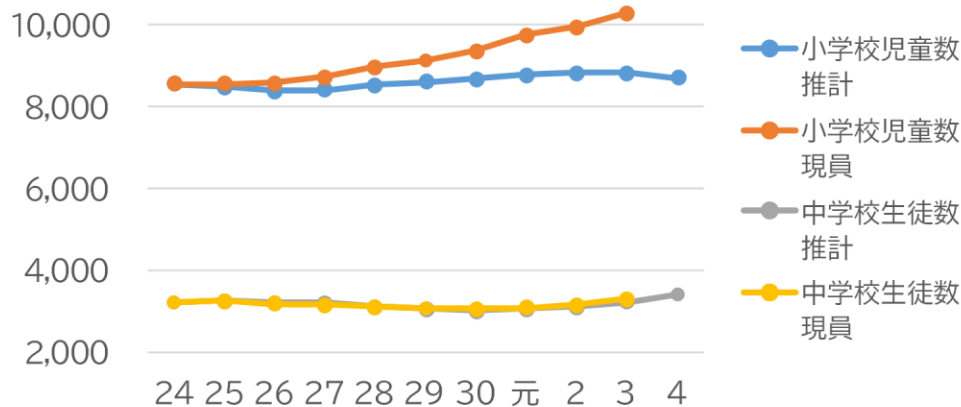
公立小中学校増加率ランキング

順位	小学校名	所在地	平成26年	令和3年	増減数	増減率
1	白桜	上高田	319	540	221	69.3%
2	江古田	江古田	303	454	151	49.8%
3	桃花	中野	501	745	244	48.7%
4	塔山	中央	326	479	153	46.9%
5	啓明	大和町	273	351	78	28.6%
6	平和の森	新井	600	751	151	25.2%
7	江原	江原	403	490	87	21.6%
8	鷺宮	鷺宮	279	337	58	20.8%
9	小学校全体		8,569	10,300	1,731	20.2%
10	緑野	丸山	441	528	87	19.7%

順位	中学校名	所在地	平成26年	令和3年	増減数	増減率
1	緑野	丸山	317	413	96	30.3%
2	第二	弥生町	271	330	59	21.8%
3	第七	江古田	277	303	26	9.4%
4	中学校全体		3,171	3,281	110	3.5%
5	南中野	南台	318	325	7	2.2%
6	第五	上高田	284	288	4	1.4%
7	北中野	上鷺宮	451	441	-10	-2.2%
8	中野	中野	462	347	-115	-24.9%

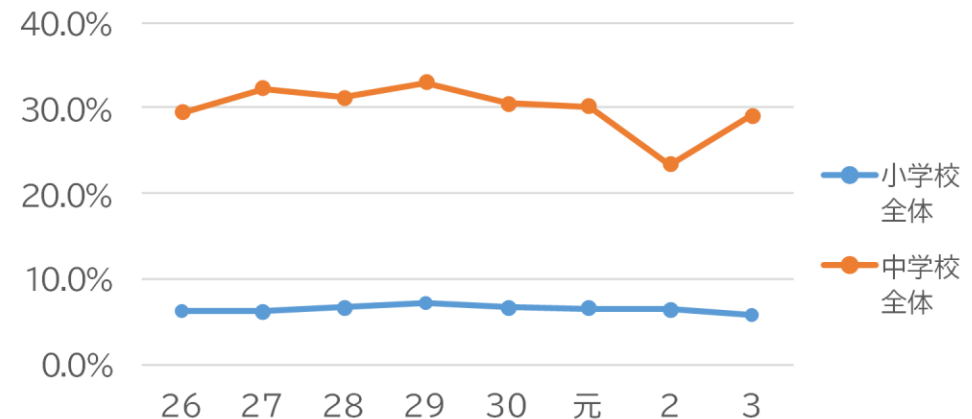
各年5月1日現在 第二期再編校除く

再編計画推計と現員



出典：中野区立小中学校人口推計(平成24年度推計)、教育要覧

私立入学率



出典：中野区議会予算特別委員会資料

子育て先進区の実現に向けた取組

重点ポイントと主な関連事業

～児童虐待を未然に防止する事業を充実し体制を強化します～

- 子どもの権利に係る普及啓発の実施
- 保護者の育児不安の解消につながる子育てサービスや相談支援の充実
- すこやか福祉センター、子ども・若者支援センター、児童館等による見守り、ネットワーク支援の強化

～生活が困難な状況にある家庭の子どもを支える環境をつくります～

- 子どもの経験・体験・学びの機会の確保
- 食事の確保などの生活支援の充実
- 子どもの立場に寄り添った相談体制の確保

～子どものニーズに合わせた環境づくりを進めます～

- 子どもの成長に合わせた児童館やキッズ・プラザなどの多様な居場所づくり
- 魅力ある公園の整備
- 子育て関連店舗の充実と子育て支援住宅の普及促進

～地域の協働・協創により学習環境を充実します～

- 学校運営協議会・地域学校協働本部の設置
- 子どもや地域の現状・課題を踏まえた学校ごとの特色ある教育の充実
- 保育園、幼稚園、小・中学校の連携教育の充実
- 子どもの読書活動の推進

～多様な主体の参画により子どもの育成活動を活性化します～

- 地域の協働・協創体制の拠点としての児童館機能の充実
- 子育て関連団体に対する支援とネットワークの構築
- 若者が活躍できる交流や活動の機会の充実